

棚卸資産の勘定科目・仕訳 ハンドブック



※当資料に従うことで、法令違反がないことを保証する資料ではありません。
※あくまで参考としてご活用いただくことを想定している資料です。実際の制度内容は国の資料等をご確認ください。
※当資料は、2026年1月時点の内容となっております。最新の情報は国の資料等をご確認ください。

棚卸資産の勘定科目・仕訳 ハンドブック

棚卸資産の基礎知識と勘定科目

【棚卸資産の定義と性質】棚卸資産とは、販売目的で保有し、決算時に在庫として残っている資産を指します。

項目	内容
定義	販売目的の保有資産（在庫）
表示区分	流動資産（貸借対照表）
特徴	1年以内に現金化・費用化が見込まれる
比較	貯蔵品（未使用消耗品）とは販売目的の有無で区別

【業種別の主な勘定科目】業種によって、取り扱う在庫の名称が異なります。

業種	主な勘定科目	備考
販売業	商品	小売・卸売業などで仕入れたもの
製造業	製品・仕掛品・原材料	製造工程や加工状態による区分
不動産業	棚卸不動産	販売目的で所有する土地・建物

棚卸資産の勘定科目・仕訳 ハンドブック

棚卸資産の仕訳（三分法）と決算修正

【期中の仕訳（三分法）】三分法では、期中に「商品」勘定を動かさず、収益と費用のみを記録します。

取引内容	借方勘定	貸方勘定
商品仕入時	仕入	買掛金（など）
商品売上時	売掛金（など）	売上

【決算時の修正仕訳（振替・差異修正）】決算時には、実際の在庫状況に合わせて資産と費用を確定させます。

目的	借方勘定	貸方勘定	内容
期首在庫振替	仕入	繰越商品	前期残高を費用に振替
期末在庫計上	繰越商品	仕入	当期残高を資産に計上
在庫紛失修正	棚卸減耗損	繰越商品	数量不足分の修正
価値低下修正	商品評価損	繰越商品	価値減少分の修正

棚卸資産の勘定科目・仕訳 ハンドブック

棚卸資産の評価方法・計算方法

【主な評価方法の比較】期末在庫の単価を決定するための代表的な手法です。

手法	計算の考え方	備考
個別法	商品個別の仕入価格で評価	宝石・不動産等に適合
先入先出法	先に仕入れた順に売れたとみなす	物価上昇時に利益が出やすい
総平均法	期首+総仕入額の平均単価で計算	計算が簡便で実務的
移動平均法	仕入れの都度、単価を更新	常に最新単価を把握可能

【その他の計算・重要作業】

- ・**売価還元法**：期末の販売価格合計に原価率を掛けて算出。
- ・**最終仕入原価法**：期末に最も近い仕入単価を全在庫に適用。
- ・**実地棚卸**：期末に現物を確認し、帳簿残高を修正する不可欠な作業。